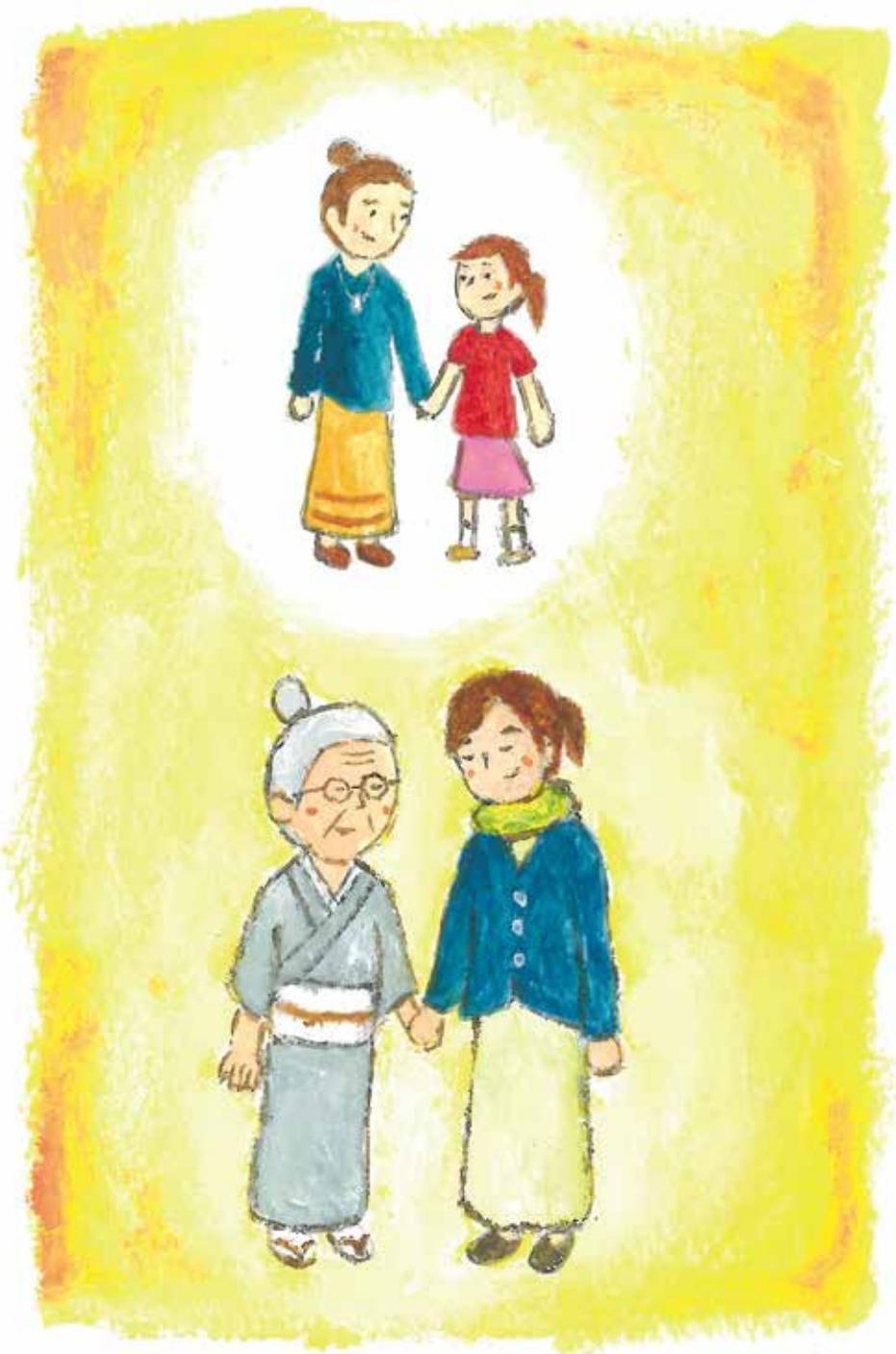




共に育つ

育てるつもりが育てられ



妊娠期は様々な体調の変化があったり、出産時も色々な痛みを伴ったりします。生まれたら生まれたで、衣食住すべてのお世話の繰り返し。「私が、私たちが守り育てなきゃ」と、無我夢中の日々が過ぎていきます。

子育ては、衣食住のお世話から、次第に、内容は変わっていきますが、一人の命を産み育てるのは、本当に大変です。こんな壮大なこと、ママだけやパパだけ、ママとパパだけで出来ることではありません。周りの人を巻き込んでいきましょうね。

でも、どうして、そんなにまでして赤ちゃんを産み育てるのでしょうか。そこには、大きな喜びがあるからだと思うので

す。

新しい家族が一人増えることで、その人を交えた人生が始まります。例えば、とっても虫が好きなお子さんだったから、自分は虫が嫌いだったのに、いつしか一緒に昆虫採集をしていたとか、食物アレルギーがあるお子さんだったから、「食べるもの」について勉強し、食事の内容を考えていったら家族みんなが健康になった等、そんな話を聞くこともあります。

子育てをすることで、親は子どもという新たなレンズを通して社会と関わる機会を作り、実は、子どもに育ててもらっているのかもしれないね。